

<中津川市教育の方針と重点>
目指す姿
「よりよいひとりだち」
方針
生活・学習における基礎基本の
習得とたくましい子の育成
「知識と知恵」→「生き抜く力」

<校区の願い>

- ・馬籠、神坂地域の統合を象徴
- ・地域活性化と学校教育の両立
- ・少人数の中での健やかな学び
- ・安心安全な学校

<学校の教育目標>

大樹

ゆるぎない基礎
たくましい心身
ゆたかな表現

<校訓>

張翼負荷

自由の翼を張り、そこに生じる
責任の重みは背負おうではないか

<生徒の実態>

- 規範意識を身に付けている生徒が多く、経験知を生かして行動ができる。
- 地域の教育力もあり、穏やかで優しい生徒が多い。
- 値打ちを実感すると精力を傾け取り組むことができる。
- ▲与えられた課題に真面目に取り組むが、変化への対応に弱く、主体性に欠ける。
- ▲人間関係が固定されやすく、自己実現力を発揮するための仲間関係が構築しにくい。

<めざす生徒の姿>

仲間と共に「たくましく」自立する生徒

～志の実現に向けて、ひたむきな努力の継続～

自己実現力

人間関係形成力

教師の指導・援助の構え：一人一人の生徒を真に大切にする

今日的な教育課題に対応した教育活動の実施

<神坂中学校の教育活動>

生徒指導：「自己決定」「共感的理解」「自己有用感」を伴った自己指導能力の育成

道徳科：豊かな心と集団生活の向上に積極的に関わる道徳教育

特別活動：集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を発揮しながら、個と集団の生活上の課題を解決する特別活動

総合的な学習の時間：神坂の人や事象について調べ、追究し、関わる活動を通して資質・能力を育成し、自らの生き方を考える総合的な学習の時間

<研究推進>

研究主題：「できた」「わかった」が実感できる授業づくり

～仲間と共に主体的に取り組む学習活動のあり方～

研究内容Ⅰ：課題意識をもって取り組む導入の工夫

Ⅱ：課題解決に向かうための指導・援助の工夫

Ⅲ：充実感をもつことのできる授業終末の工夫

<学校教育を支える地域の教育資源・人材>

・「コミュニティ・スクール」の実質的な運用の為に組織作りと実践

・地域人材・教育資源を活用した「ふるさとに学ぶ場」の位置付け

・幼小中での12年間を見通した保育・教育活動の連携・協働の推進

P D C A サイクルによる成果の検証(生徒の意識と姿の見届け)

<神坂学校(神坂幼稚園・小学校・中学校)のめざす姿>

ふるさとに学び、働きかける子

～自己実現に向かうたくましさの育成～